

「働く」ということ Well-being 2018

～心つながる わかりあえる まち さやま～

日時：12月5日(水)～8日(土) 9時～17時
場所：市民交流センター1階コミュニティホール



今年のポスターの絵は、入間わかくさ高等特別支援学校の生徒さんが描いたものです

12月3日～9日の「障害者週間」にあわせて、障害のある方たちの、ありのままの姿や今の想いを伝えるイベント「Well-being」を開催します。

Well-beingとは、「その人がその人らしく生きる」こと。今年は「就労」をテーマに開催します。就労は、経済的自立に欠かせない社会活動で、社会参加の一つの方法となっています。

狭山市に暮らす一人ひとりが、障害の有無に関わらず、個性を生かし、力を発揮しながら住み慣れた地域で暮らすためには、周りの方々とのつながりを育むことが大切です。また、障害のある方たちのありのままの姿にふれることで、「その方にとって、必要な配慮」や「私たちにできること」を理解することができま

Well-beingに参加し、「心つながり」の大切さや、同時開催する人権パネル展で「人権」の大切さを一緒に考えてみませんか。

Well-being

■「こころの声の発表」
障害のある方やご家族が、「これまでの道のり」や「将来への想い」などをご自身の言葉で伝えます。未来に向かって前向きに生きていく皆さんのお話から、障害に対する

理解が深まる発表会です。
日時12月8日(土)、13時～16時

■パネル展示
障害のある方を支援する、さまざまなサービスや事業所の取り組みを紹介します。また、市内小・中学校や特別支援学校の児童・生徒が制作した作品なども多く展示します。
日時12月5日(水)～8日(土)、9時～17時(8日は16時まで)

■就労支援セミナー
障害のある方が、働くために必要な就労のポイントや注意することなどを学べます。
日時12月7日(金)、13時30分～16時
■物品販売
福祉作業所で障害のある方が心を

あいサポート運動

市は、7月3日(火)に自治体単独では県内で初めて、鳥取県と「あいサポート運動」の協定を締結しました。あいサポート運動は、誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)をみんなで作っていくことを目的に、平成21年11月に鳥取県で創設され、研修を受講した「あいサポーター」を中心に全国に広がっています。

9月末現在、市内では191名の「あいサポーター」が誕生しています。「あいサポーター」は、障害のある方への必要な配慮などを理解し、日常生活で障害のある方が困っているときなどに、ちょっとした手助けをします。今後も継続してあいサポーターの研修会を予定していますので、詳細はお問い合わせください。

問合せ障害者福祉課へ内線1594

◆あいサポーターは「あいサポートバッジ」を身に付けています
障害のある方を支える「心」を2つのハートを重ねることで表現しています。



平成29年度の主な事業と一般会計決算の状況

平成29年度は、市のまちづくりの指針となる「第4次狭山市総合計画前期基本計画」に掲げる次の4つの重点テーマと「狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、市政運営に取り組みました。その結果29年度の決算額は、市の行政運営に必要となる一般的な経費を扱う一般会計で、歳入総額は44億9千398万円に、歳出総額は42億5千860万円になりました(決算の概要は12ページを参照)。

4つの重点テーマ

テーマ2
まちと産業に
活力を
(まち・しごと)

テーマ1
若い世代を
増やす
(ひと)

テーマ4
市政運営を
みんなの力で
(協働)

テーマ3
楽しめる
健康高齢社会を
(健康長寿)

8ページからは、平成29年度の主な事業を重点テーマごとにお知らせします